



ネパールにおけるCOVID-19の 労働への影響と取り組み

HANSA RAM PANDEY
ネパール全国商工会議所連盟 (FNCCI-EC)
副事務局長



参加者の紹介

2

- 氏名 : Hansa Ram Pandey、組織名 : FNCCI-EC
- 国 : ネパール
- 職務と責任：
 - FNCCI-ECで業務に従事。
 - 政策決定やロビー、アドボカシー活動に関し助言および支援。労使関係および雇用問題に関するネパール全国商工会議所連盟のプログラム活動の設計における技術サポート提供。
 - 政府、労働組合、ILOおよびその他の関連機関との連携。

組織概要



3

- 全国業界雇用者団体のネパール全国商工会議所連盟 (FNCCI)は、1965年に設立。
- 国内全土で運営されている地域商工会議所連盟会員との全国的ネットワークを有す。
- 国内および国際レベルで実業界を代表。国内の企業および経済の成長促進を支援。労働者関連事項やその他の社会問題にも対応。



マクロ経済指標と労働状況

4

- ネパールの現在の推定人口は、約2900万人。16 - 64歳の労働年齢人口は、約2070万人。
- 総就業者数は、710万人。労働力率は、38%で、男性が53.8%、女性は26.3%。
- ネパールは、労働余剰国である。毎年、約50万人の新たな求職者が労働市場に参入している。海外就職のための労働移住は増加している。



マクロ経済指標と労働状況

5

- 連続する過去3年間の平均GDP成長率は、7%。
- 新型コロナウイルス感染症の発生とその後のロックダウンの影響は、実体経済部門の成長に打撃を与えた。
- 今年のGDPは、2.3%に減少。1%を下回るまで、さらに減少することが予測されている。
- 新型コロナウイルス感染症は、人々の健康、経済、事業および人的資本に厳しい影響を及ぼしている。

新型コロナウイルス感染症の影響



6

- 食品の安全性、健康、教育、労働市場や雇用に大きな影響がみられる。
- 新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、労働市場のシナリオが変化した。国内外の労働移住が影響を受けている。
- 労使関係、人的資源管理には、新たな思考が求められている。
- 作業組織、ならびにAIおよびICTの利用の増加が懸念されている。

新型コロナウイルス感染症の影響



7

- 新型コロナウイルス感染症の流行と、流行抑制のためのロックダウンは、ネパールの観光、娯楽、輸送業界に大きな打撃を与えた。
- 予測経済成長率が急落し、小規模・零細企業の被雇用者の5人に3人が失業に追い込まれている。
- 社会的保護、雇用の維持、将来の人員削減の最小化が主要な課題となっている。

新型コロナウイルス感染症の影響



8

- 労働に対する影響は、雇用契約の性質によって異なる。正規従業員は、失業というよりも、減給や無補償の勤務停止に直面している。
- 労働力人口の60%を占める季節労働者や非正規部門労働者は、人員削減や失業に直面している。
- 臨時労働者、国内移住者、日雇い労働者が最も影響を受けている。
- 社会的保護を受けられる人は限られているため、影響を受けやすい労働者に対する社会的保護の拡充が必要である。

新型コロナウイルス感染症への対応策



9

- 支援および補助金提供のための財政援助基金の設立
- 企業向け融資の借換え
- 銀行融資の分割返済期限と税金の支払期限の延長
- 料金や違約金の差し控え
- 中小企業への低金利による融資
- 銀行融資に対する金利の引き下げ、最も影響を受けている企業への一部免税

本プログラムに期待すること



10

- 過去のプログラム参加者として、セミナーや研修を通じてプログラムで得た経験を同僚や会員企業の管理職とシェアしてきました。
- 新型コロナウイルス感染症の発生により、世界のシナリオが変化しました。よって、世界経済、労使関係、および台頭する労働問題や人的資源管理システムに対処する会社慣行における変化に関する情報を共有する重要な機会となるでしょう。



ご清聴ありがとうございました